

確認事項②

24	○	しょくパン	担任確認
△	いんげんまめの クリームスープ	○	あかうおの レモンソース
ベーコン	10	あかうお	10
しろいんげんまめ	20	りょうりしゅ	0.5
たまねぎ	50	レモンかじゅう	2
じゃがいも	30	にんにく	0.05
パセリ	0.5	ざとう	1.2
ぎゅうにゅう	20	うすくちしょうゆ	0.3
なまクリーム	3	しお	0.3
とりがらスープ	5	こしょう	0.01
しお	0.4	てんぷん	0.2
こしょう	0.03		
ひまわりあぶら	0.3	コロコロソテー	
		にんじん	10
		ホールコーン	20
		むきえだまめ	5
		オリーブあぶら	0.2
		しお	0.1
		こしょう	0.02
		こいくちしょうゆ	0.3
しょくパン:小麦、乳 いんげんまめのクリームスープ:乳、鶏肉、豚肉 コロコロソテー:大豆			

日めくりカレンダーは“確認に使用せず”、

アレルギー対応確認用献立表で確認を行う。

確認事項③



アレルギー児童専用の**緑のおぼん**を使用する。

(ナフキンを上にはくときは、おぼんの名前が見えるように)

給食準備時の流れ①

24

しよくパン

担任確認

いんげんまめの
クリームスープ

あかうおの
レモンソース

ベーコン	10
しろいんげんまめ	20
たまねぎ	50
じゃがいも	30
パセリ	0.5
ぎゅうにゅう	20
なまクリーム	3
とりがらスープ	5
しお	0.4
こしょう	0.03
ひまわりあぶら	0.3

あかうお	1.8
りょうりしゅ	0.5
レモンかじゅう	2
にんにく	0.05
ざとう	1.2
うすくちしょうゆ	0.3
しお	0.3
こしょう	0.01
てんぷん	0.2

コロコロソテー

にんじん	10
ホールコーン	20
むきえだまめ	5
オリーブあぶら	0.2
しお	0.1
こしょう	0.02
こいくちしょうゆ	0.3

しよくパン:小麦、乳
 いんげんまめのクリームスープ:乳、鶏肉、豚肉
 コロコロソテー:大豆

給食当番出発前にアレルギー対応確認用献立表を見て、
アレルギーの有無を確認する。（確認1回目）

給食準備時の流れ②



配膳の“**最初に**”アレルギー対応確認用献立表を見ながら、**児童の席とは別の場所(オルガンや教師机)**にアレルギー対象児童の給食を緑のおぼんに用意する。(確認2回目)

給食準備時の流れ④

24	しよくパン	担任確認
△ いんげんまめの クリームスープ	□ あかうお レモンソ	
ベーコン 10	あかうお 10	
しろいんげんまめ 20	りょうりしゅ 0.5	
たまねぎ 50	レモンかじゅう 2	
じゃがいも 30	にんにく 0.05	
バセリ 0.5	さとう 1.2	
きゅうにゅう 20	うすくちしょうゆ 0.3	
なまクリーム 3	しお 0.3	
とりからスープ 5	こしょう 0.01	
しお 0.03	てんぷん 0.2	
こしょう 0.3	コロコロソテー 10	
ひまわりあぶら 0.3	にんじん 20	
	ホールコーン 5	
	むきえだまめ 0.2	
	オリーブあぶら 0.1	
	しお 0.05	
	こしょう 0.3	
	こいくちしょうゆ 0.3	

しよくパン：小麦、乳
いんげんまめのクリームスープ：乳、鶏肉、豚肉
コロコロソテー：大豆



「いただきますの前」に最終の確認をし、アレルギー対応確認用献立表にサインをする。（確認3回目）

子どもたちの発達段階や学年に応じてアレルギー対応の児童と一緒に給食の確認も行うなどの手立ても行う。

給食準備時の流れ④



「いただきますの後」に教師が除去食を入れ物から出す。

給食準備時の流れ⑤



アレルギー対応の児童が複数にいる場合、アレルギーの種類や給食に出てくる頻度、学年に応じて、混同が起きない方法をとる。

確認事項まとめ

- ①アレルギー対応確認用献立表は、前黒板に掲示する。
- ②日めくりカレンダーは対応確認には使用しない。
- ③**アレルギー対応児童の給食は緑のおぼんを使用する。**

給食準備時の流れまとめ

- ①給食当番の出発前に確認する。
- ②配膳時は“**最初に**”アレルギー児童の給食を**別の場所**（オルガンや教師机など）に用意する。
- ③**「いただきますの前」に最終の確認**をし、アレルギー対応確認用献立表にサインをする。（発達段階に合わせて、児童と一緒に確認や隣のクラスの担任と共に確認を行う）
- ④**「いただきますの後」に教師が除去食を入れ物から出す。**
- ⑤アレルギー対応の児童が複数いる場合、混同しない方法をとる。

その他の注意事項

- ①アレルギーの程度や、発達段階、保護者の要望に合わせて、必要であれば、**児童席とは別の場所（教師の横など）で食べる配慮**を行う。
- ②給食を増やすときやおかわりのとき、**アレルギー対応の児童の分は教師が確認**の上、行う。
- ③アレルギー対応の頻度が多い児童がいる場合や、対応児童の人数が多い場合は、**その日のアレルギーの有無に関わらず、毎日緑のおぼんを使用するなどの対応**も行う。